

各 位

2025 年 9 月 17 日
株式会社 山と溪谷社
<https://www.yamakei.co.jp/>

秋は多肉植物の寄せ植えライフを始めるベストシーズン！ワークショップは即完売の人気講師・
kurumi さんの最新刊『365 日いつからでも始められる！多肉植物寄せ植え手帖』発売

インプレスグループで山岳・自然分野のメディア事業を手がける株式会社山と溪谷社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：二宮宏文）は、『365 日いつからでも始められる！多肉植物寄せ植え手帖』（kurumi 著）を発売しました。



12 ヶ月の多肉植物の寄せ植えレシピの他に、寄せ植えの基本から仕立て直し、月ごとの多肉植物の管理の方法までをていねいに紹介。多肉植物を初めて育てるという方でも、安心して多肉植物の寄せ植えライフを楽しめる 1 冊です。

水やりのこと、土のこと、増やし方、調子が悪くなったらどうしたらいいか、失敗しないコツまで、すべて写真付きで解説。さらに、多くの方が悩みがちな「どの多肉植物にどんな育て方が必要か」が感覚的にわかるように、独自に多肉植物の種類を 4 つのフォルムで分類し、初心者の方でも簡単に理解できて、今からすぐに始められるような内容となっています。

基本の寄せ植え

basic planting

用意するもの

- 鉢底石
- 寄せ植え用土
- 土入れスプーン
- ピンセット
- 霧吹き
- プロパー
- 土をばす皿

使用した書

- A: 新秋葉 (つぼみ型)
- B: パープルヘイズ (つぼみ型)
- C: シムラン (つぼみ型)
- D: シムラン (つぼみ型)
- E: シムラン (つぼみ型)



鉢底石を1cmくらい入れる。 寄せ植え用の土を入れる。 鉢のふちから5mmくらいのところまで入れる。 苗をばす皿からピンセットで土をばき、中心から少しずらした位置に植える。 土をばす。 ピンセットで水をばき、中心から少しずらした位置に植える。

水やりのこと

about watering

水やりのコツ

多肉植物の栽培でもっとも大切なことは水やり。枯らしてしまったりはよくありますが、水やりのしすぎです。寄せ植え後は乾いた土が見えなくても、1〜2週間経つと土と器の間にすき間ができて水やりしやすくなります。



水やり前 鉢底から水が流れ出るまで水やり。水やり後は、鉢底から水が流れ出るまで待つ。水やり後は、鉢底から水が流れ出るまで待つ。水やり後は、鉢底から水が流れ出るまで待つ。



寄せ植え作りに加えて、それぞれの月から始める方向けのスターターリスト、その月にやっておきたい ToDo リストも掲載。寄せ植えをした後のお手入れや植え替えの目安、気候や住んでいる地域に合わせた対策法も紹介しています。



コラムページでは「韓国の多肉植物レポート」「初心者ためのお買い物ガイド」「紅葉する多肉植物たち」「休眠する多肉植物たち」「寒冷地や雪国の冬越し」など、マメ知識が身につきます。

多肉植物は1年を通して育てられますが、秋は特に育てやすい気候。多肉植物の紅葉も見られるので、始めるのにおすすめのシーズンです。最近は物価の高騰やインバウンドの影響で、おうち時間を楽しみたいという人も増え、「多肉植物の寄せ植え」は密かなブームとなっています。「省スペースでもできる」「安価で長持ち」と利点も多い多肉植物。ぜひおうち時間に、多肉植物の寄せ植えを始めてみませんか。

【目次】

PART1 多肉植物の基本

多肉植物とは／フォルム別の見分け方／基本の道具／鉢のこと／土のこと／水やりのこと／基本の寄せ植え／増やし方／調子が悪くなったら

PART2 季節の寄せ植えを楽しむ

◎1月

凍結予防、霜除けをする／身近なもので防寒対策する／寒さに強い多肉植物／冬の水やりのコツ／美しく紅葉させる／枯れ葉を取る／地植えの冬越し対策をする／お正月を彩る寄せ植え

◎2月

水やりのコツ／凍結防止の対策をする／地植えの手入れ／フォルム別・多肉植物の増やし方／スイーツのような小さな寄せ植え

◎3月

水やりのコツ／ロゼット形を植え替える／古い土や鉢を再利用する／地植えの手入れ／花束を作る／

春を迎えるイースター寄せ植え

◎4月

成長黄金期の水やりのコツ／色の変化を楽しむ／カーペット形を増やす／遮光・遮熱ネットを準備する／地植えの手入れ／バスケットを使った寄せ植え／

◎5月

水やりのコツ／風通しを確保する／害虫の予防対策をする／遮光・遮熱ネットを取りつける／地植えの手入れ／寄せ植えを贈る／感謝の気持ちを伝える寄せ植え

◎6月

梅雨対策をする／枯れ葉を取る／水やりのコツ／カビの予防対策をする／しっかり日に当てる／地植えの手入れ／シャーベットカラーの寄せ植え

◎7月

この時期におすすめの多肉植物／水やりのコツ／暑さに強い多肉植物／遮熱対策をする／七夕をイメージした寄せ植え／涼やかな気分の寄せ植え

◎8月

水やりのコツ／枯れ葉を取る／地植えの手入れ／サボテンをミックスする／サボテンの寄せ植えの基本／お部屋で楽しむ寄せ植え／サボテンと多肉植物の寄せ植え

◎9月

水やりのコツ／植え替えをする／寄せ植えを仕立て直す／仕立て直し方／地植えを仕立て直す／古道具を使った寄せ植え

◎10月

水やりのコツ／色の変化を楽しむ／美しく紅葉させる／地植えの手入れ／強風対策をする／読書の秋の寄せ植え

◎11月

水やりのコツ／冬気分が楽しめる寄せ植えを作る／冬支度をする／置き場を見直す／地域による置き場の違い／地植えの手入れ／クリスマスリースの寄せ植え

◎12月

水やりのコツ／室内に取り込む／置き場を見直す／地域による置き場の違い／真冬の鉢の選び方／冬気分のモフモフ寄せ植え

【著者プロフィール】

kurumi（くるみ）

多肉植物の育成歴は約15年。繊細で美しい寄せ植えの世界に魅了され、全国各地で多肉植物の寄せ植えレッスンを開催。2020年には、多肉植物の寄せ植え文化の普及と講師育成を目的として「多肉スタ

イリング協会(R)」を設立。教員としての経験を生かし、わかりやすく楽しい指導に定評があり、協会は設立から5年で会員数400名を超える。現在も多くの講座を精力的に行いながら、多肉植物の魅力を広めている。著書に『花のような多肉植物の寄せ植え』（主婦の友社）、『多肉植物のみっちり寄せ植え』（日本文芸社）、『kurumiの多肉スタイリングの世界』（メディアパル社）などがある。

【書誌情報】

書名：365日いつからでも始められる！多肉植物寄せ植え手帖

発売日：2025年9月17日

著者：kurumi

価格：1,870円（本体1,700円＋税10%）

ISBN：978-4-635-58061-8

商品情報ページ：<https://www.yamakei.co.jp/products/2825580610.html>

【山と溪谷社】 <https://www.yamakei.co.jp/>

1930年創業。月刊誌『山と溪谷』を中心とした山岳・自然科学・アウトドア・ライフスタイル・健康関連の出版事業のほか、ネットメディア・サービスを展開しています。

さらに、登山やアウトドアをテーマに、企業や自治体と共に地域の活性化をめざすソリューション事業にも取り組んでいます。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：塚本由紀）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社山と溪谷社 担当：岩名

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-105 神保町三井ビルディング

TEL03-6744-1900 E-mail: info@yamakei.co.jp

<https://www.yamakei.co.jp/>